

第3章

資料2 生薬一覧(覚え方)

解熱鎮痛薬、鎮咳去痰薬、鼻炎薬、風邪薬、うがい薬、小児鎮静薬

No.	葉効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
1	解熱鎮痛薬	ボワイ/防已		ボワイ(ボーイ:男の子)=小便小僧のイメージ ボワイは体の余分な水を取る作用がある→利尿作用、関節痛改善(ひざの水を取る)
2		カッコン/葛根	葛(クズ)の根。	葛湯(くずゆ)→熱さまし 葛湯は昔から風邪の時に解表薬として使用されている ※解表薬:発汗させて熱を下げる薬
3	解熱鎮痛薬、風邪薬	ショウマ/升麻	升:「昇る」の意。下垂した内臓を活性化し上げる。 麻:麻の葉に似ていることから。	氣を上げて発散→解表薬
4		ジリュウ/地竜	地の竜=ミミズ	みみず→ひんやりしているイメージ→解熱薬
5		ボウフウ/防風	「風邪を防ぐ」の意。	その名の通り、解表薬。
6	解熱鎮痛薬、痔用薬(内用)	サイコ/柴胡	柴:根が紫色(昔は柴ではなく紫という字だった) 胡:西方の異民族を指す。例)胡椒、胡桃	炎症を起こして紫色になった患部に使うイメージ→抗炎症剤
7	解熱鎮痛薬、婦人薬、胃腸鎮痛鎮痙剤	シャクヤク/芍薬		美人を形容する「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」という言葉は元々生薬の働きを表している。 芍薬:気が立ってカッカしている女性の痛みや筋肉のこわばりを取る。
8	解熱鎮痛薬、婦人薬、内用痔用薬	ボタンピ/牡丹皮		牡丹皮:お血が原因でペタンと座つばかりいるような女性の諸症状を改善する。
9		カノコソウ/鹿子草	花の蕾を上から見ると、染め物の「鹿の子絞り」に似ていることから。	鹿=おとなしいイメージ=鎮静剤
10		サンソウニン/酸棗仁	酸っぱいなつめ(棗)の種子(仁) サネブト(核太)ナツメ:果実の核が大きいという意味	酸味→緊張緩和 大棗[70]はナツメの果実、酸棗仁[10]はサネブトナツメの種子である。
11	催眠鎮静薬	チャボトケイソウ	花が時計に似ていることから。	時計→体内時計→鎮静、催眠作用 別名バッシュンフラワー、バッシュフローラ。OTC医薬品のイララックやパンセダンなどに含まれる。
12		チョウトウコウ/釣藤鉤	フック(カギまたは鉤)状のとげがあることから。	とげ→痛みや気持ちをとげで制する→鎮痛剤
13		ホップ		ビールの香りづけのために使われる。
14		ジャコウ/麝香	麝の字は鹿と射を組み合わせたもの。	オスがメスを誘う(射止める)香りである ムスク(シャネルNo.5)の香りである。
15	小児鎮静薬、強心薬	ジンコウ/沈香	生薬として使われる樹脂が水より重くて沈むことから。	沈む=イメージ=鎮静作用 科名のジンチョウゲは漢字で沈丁花と書くので合わせて覚えよう。
16		レイヨウカク/羚羊角	カモシカの角。	鉱物などの重い生薬は鎮静作用のあるものが多いため、同じイメージで覚えると良い。
17	強心薬	リュウノウ/竜脑	昔は金と同じぐらいの価値のあった、香り高い生薬。	竜の脳→脳がすごい働きそうなイメージ→中枢神経興奮作用、消炎、鎮痛 唯一「気付け」の適応がある。
18	小児鎮静薬、強心薬、滋養強壮保健薬	ゴオウ/牛黄	牛黄:牛の胆石が黄色いことから。	水戸黄門が印籠に入っていたという説がある→緊張や興奮を鎮める
19	風邪薬、鎮咳去痰、鼻炎薬	マオウ/麻黄	麻:食べると舌が麻痺することから。 黄:マオウが黄緑色のため。	麻黄(エフェドリン)は覚醒剤原料となる→交感神経興奮薬
20	風邪薬、鎮咳去痰、鼻炎薬、胃腸薬、甘味料	カンゾウ/甘草	甘草:噛むと甘いことから。 別名リコス、グリチルリチン。	甘草の主成分は、グリチルリチン酸である。
21		オンジ/遠志	「志を遠大にする(強くする)」の意。	最近は記憶力改善を謳った商品が多いが、試験では去痰作用のある成分として出題される。
22		セネガ/美遠志(中國語)	北米原住民のSeneka族から。美:中国語でアメリカの意。	インディアンのSeneka族が毒ヘビにかまれた時に救急的に使用しており、その後去痰作用があることが判明。主成分はサポニン。
23	鎮咳去痰薬	オウヒ/桜皮	桜の木の皮。	
24		シャゼンソウ/車前草	牛車や馬車が通る道ばたに多く生えていることから。	負傷兵が逃走中に、馬と共に血尿になった。数日後馬だけ回復し、馬の周りの草がなくなっていた。この出来事で車前草に利尿作用があることが判明した。「去痰や利尿など余計な水を外に出す作用がある」と覚える。

第3章

資料2 生薬一覧(覚え方)

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
25	鎮咳去痰薬	セキサン/石蒜	石蒜はヒガンバナの別名。	セキサンの「セキ」→咳→去痰作用
26		キキョウ/桔梗	「根が結実して硬い」の意。	サボニンが含まれ、鎮咳去痰薬として使われる。トローチ剤に含まれていることもある。
27		キョウニン/杏仁	あんず(杏子)の種子(仁)。	鎮咳作用があるが、多量服用で青酸配糖体のアミグダリン(バラ科の種子に含まれる)が胃液と反応し呼吸困難となる。
28		ナンテンジツ/南天実		南天のど飴の名前の由来となった生薬。
29		バクモンドウ/麦門冬		冬は乾燥している→乾いた咳に使用 のどを潤し粘稠な痰を出しやすくする。
30		ハンゲ/半夏	夏の半ばに花が咲く(その頃に採取する)ことから。	俗にいう「いも」の部分(塊茎)を生薬とする。
31	鎮咳去痰薬、滋養強壮保健薬	ゴミシ/五味子	果実に「酸、甘、苦、辛、鹹」の五味があることから。ただし主体は酸味。	酸味には収斂作用がある。収斂作用=血管収縮作用(炎症を取り咳をしずめる、鼻水を止めるなど)
32	鼻炎用内服薬	ケイガイ/荊芥	荆:とげの意。 芥:辛いの意。カラシを漢字で芥子とも書く。	辛温解表薬。紫蘇の葉に似た香りがあり、薬効も紫蘇や生姜と同じである。 ※辛温解表薬:体を温めて汗をかき熱を発散する薬。
33		サイシン/細辛	細いひげ根を噛むと辛いことから。	辛温解表薬。「辛」の字のごとく、体をあたためることで頭痛や鼻炎を改善する。
34		シンイ/辛夷	辛:実をかむと辛いことから。 夷:「外国」の意。	辛温解表薬。「辛」の字のごとく、体をあたためることで頭痛や鼻炎を改善する。
35	鼻炎用内服薬、風邪薬	ベラドンナ	ベラ:美しい(妖怪人間ベムに出てくる「ベラ」)、ドンナ:淑女(マ・ドンナ:我が淑女の意)	イタリアルネサンス期に女性がベラドンナの汁を点眼して目を美しく(大きく)見せたため、この名が付いた(抗コリン作用による散瞳)。
36	うがい薬、健胃薬	ウイキョウ/茴香	魚肉の「香り」を「回復」させるという意味の中中国語名より。	別名フェンネル。清涼感があるのでうがい薬、香りが強いため芳香性健胃薬としても使われる。
37	うがい薬、歯槽膿漏薬	カミツレ	カモミールのドイツ語読み(カミルレ)より。	カマズレン(カモミール+アズレン)が主成分で、アズレンと同じく抗炎症作用を持つ。
38		ミルラ	昔ミイラ作りの遺体の防腐処理のためにミルラ樹脂が使用されており、ミイラの語源はミルラから来ているという説がある。	収斂作用(抗炎症作用)と抗菌(防腐)作用があり、口腔・咽頭症状に使われる。
39		ラタニア		タンニンを多く含み、収斂作用(抗炎症作用)と抗菌作用があり、口腔・咽頭症状に使われる。

胃腸症状に使う生薬

40	胃腸薬、制酸剤	ボレイ/牡蠣	カキ(牡蠣)の音読み。	炭酸カルシウムが成分の80~95%を占め、制酸剤である。石や貝など重い生薬は鎮静作用があるものが多い。胃酸も鎮静させると覚えると良い。→参考【62シングュ】
41	苦味健胃薬 ※味覚(苦味)により反射的に唾液分泌や胃液分泌を促すため、オブラート使用不可	オウバク/黄柏	内皮部が黄色いため。科名の黄肌・木肌(キハダ)もそのままの意味。	この3種の苦味健胃薬はすべてリンドウ科の植物である。
42		オウレン/黄連	「黄」色い根茎が節状に「連」なることから。	
43		ゲンチアナ	紀元前500年頃のゲンチアナ王が使ったことから。	
44		センブリ/千振	「千回振り出しても(煎じても)まだ苦い」ことから。	
45		リュウタン/竜胆	「竜の胆のように根が苦い」。リンドウはリュウタンの読みが変化したもの。	
46		ユウタン/熊胆	熊の胆汁の略。苦い。	
47	芳香性健胃薬 ※嗅覚(芳香)により反射的に唾液分泌や胃液分泌を促すためオブラート使用不可	ケイヒ/桂皮		シナモンのこと。独特な芳香がある。
48		コウボク/厚朴	ホウノキの名の由来:ホウは「包」で餅を香りのよい葉で包むことから	
49		ショウキョウ/生姜	生姜の音読み。	辛温解表薬。
50		ソウジツ/蒼朮	朮:「オケラ」の意。根は黒く青ではない。中国では白朮よりよく使われる。	補氣薬。朮には蒼朮と白朮がある。
51		チョウジ/丁子	丁は「釘」という意味。薑の形が釘に似ていることから。英名はクローブで、仏語で釘はclouと言い、その語源となっている。	釘→刺激→香辛料(芳香性健胃薬) カレー・チャイなどの香辛料としても使われる。
52		チンピ/陳皮	陳:「古い」の意。陳旧なものが品質が良いということから。	みかんの皮を干したもの。みかんの良い香りがする生薬。
53		ビャクジュツ/白朮	朮:「オケラ」の意。根が白い。日本では蒼朮よりよく使われる。	補氣薬。京都の八坂神社で元旦に執り行われる「白朮祭(おけらさい)」は有名。祭では薬草のオケラをたいて邪気を払う。

第3章

資料2 生薬一覧(覚え方)

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
54	瀉下剤	アロエ		生薬のアロエの基原植物は、ヨーグルトなどに使われているアロエとは別種だが、それをイメージすると覚えやすい。
55		ケンゴシ/牽牛子	この高価な「種子」を手に入れるために「牛」を「牽(ひ)」いていき謝礼にしたことから。	アサガオの種→コロコロ便に形状が似ている→便秘薬
56		センナ		センノシドはセンナに含まれる瀉下成分。
57	便秘薬、婦人薬	ダイオウ/大黄	「形が大きく黄色い根茎を持つ」という意味だと言われている。	大きい黄色→便→便秘薬
58	整腸剤	ケツメイシ/決明子	「目に明かりを与える種子」の意。	ミュージシャンのケツメイシは、「全てを出し切る」ということでこの名をつけたという説がある。
59		ゲンノショウコ/現証 梶	現に証拠がある=どんな下痢にもすぐに効果がある、の意。	

外皮用薬

60	外皮用薬	アルニカ		育毛剤によく含まれる。
61	外皮用薬、歯痛用薬	サンシシ/山梔子	梔子は訓読みでクチナシと読む。基原植物のクチナシ(口無し)は、果実が熟しても裂開しないことから。	口無し→傷無し→抗炎症作用、鎮痛作用 「新今治水」という塗るタイプの歯痛止めに含まれている。

循環器用薬

62	強心薬	シンジュ/真珠		石や貝→重い→鎮静作用 体の熱を取る(鎮痛、鎮静)とされる。参考【40ボレイ】
63		センソ/蟾酥	虫偏の蟾という字は「ヒキガエル」という漢字。	いわゆるガマの油。ムツゴロウさん曰く、観察中のカエルの油をなめたところ、体がしゃんとして元気になったが、後日これに強心作用があることを知ったというエピソードがある。
64		ブシ/附子	毒に使うときは「ぶす」、生薬の時は「ぶし」と呼ぶ。	ルンバウノリヤエリの。頭面の神經麻痺を起こすために、不天入を表すノスの語源となったとされる。トリカブト保険金殺人事件の原因植物としても有名である。減毒して使用しないと心不全で死に至ることもある。
65		ロクジョウ/鹿茸	鹿の角(=茸)の意。	若い鹿の角→男性器のイメージ→強壮・強精薬
66		コウカ/紅花	花穂が赤いため。	紅花は赤い→血に似ている→血流改善

滋養強壮薬

67	滋養強壮保健薬	オウギ/黃耆	耆:「老人」の「日」と書いて「長(おさ)」の意。黄色い補薬の長という意味。	黄色の長(リーダー)→パワフル→精力剤 中国では人参以上に人気のある、強壮目的で使われる生薬。
68		サンシュユ/山茱萸		
69		サンヤク/山藥	山で取れる薬(イモ)の意。	ヤマイモ(自然薯)やナガイモを乾燥させたもので、昔から強壮剤として使ってきた。
70		タイソウ/大棗	大きなナツメ(棗)。	参考【10酸棗仁】
71		ハンピ/反鼻	中国でハンピとして使われるヘビの鼻が反り返っているため(日本ではマムシが使われる所以反っていない)。	蛇→マムシのイメージ→滋養強壮薬
72	滋養強壮保健薬、強心薬	インヨウカク/淫羊藿	「淫」らな「羊」の「葉」という意味。「藿」は豆類の若い葉のこと。	雄の羊がイカリ草を食べると1日に100回交尾する→精力剤
73	滋養強壮保健薬、解熱鎮痛薬	ニンジン/人参		
74	滋養強壮保健薬、瀉下剤	ヨクイニン/薏苡仁		別名:鳩麦→ポソポソできたいぼに形が似ている→いぼに使用する体内の水分調節をする生薬で、いぼや関節痛に用いられる。

第3章

資料2 生薬一覧(覚え方)

痔疾用薬

No.	葉効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
75	痔用薬(内外用)	セイヨウトチノミ		デンプンとサポニンやタンニンが含まれる。
76	痔用薬(内用)	カイカ/槐花	槐:エンジュと読む。「エンジュの花」の意。	槐は「木」に「鬼」と書く→魔よけの木→止血効果→長生き(延寿)まれに「延寿(えんじゅ)」の文字があてられる。
77	痔用薬(内用)	カイカク/槐角	槐:エンジュと読む。「エンジュの果実」の意。	
78	痔用薬(内)、健胃薬	オウゴン/黃芩	根の断面が黄色であることから。黄金=コガネバナと覚える。	
79	痔、口内炎用薬(外)	シコン/紫根	根が紫色であることから。	炎症を起こして紫色になった患部に使うイメージ→抗炎症剤ムラサキ科はラテン語で「ボラジネシア」と言い、ボラギノールという痔の薬の名の由来である。

泌尿器用薬

80	泌尿器用薬	ウワウルシ	uva=ウワ:ぶどう(コケモモ) ursi=ウルシ:熊 ラテン語	
81		カゴソウ/夏枯草	夏になると花穂だけが枯れたようになることから。	夏→涼しくする→利尿作用 中国南方では、熱い夏に暑気払いとして定番の涼茶に入れる薬草のひとつである。
82		キササゲ	野菜のササゲに似た長さ30cm程の果実を付けることから。	
83		サンキライ/山帰来	重篤な梅毒の患者は「山」に捨てられたが、これを飲んで治って「帰って来た」という言い伝えから。	梅毒患者が山から帰って来る→利尿効果による解毒作用 昔は性病である梅毒の治療に使われていた。
84		ソウハクヒ/桑白皮	「桑の木の根の白い皮」の意。	利尿・去痰作用で知られる。桑の実はマルベリーと呼ばれる。
85		モクツウ/木通	蔓(つる)を切って息を吹くと空気が通ることから。	木がストロー状になっている→(氣・血・水が通りやすくなる→利尿作用 アケビは果実が開裂する「開け実」から。「開く=通りやすくなる」イメージ。
86	泌尿器用薬、婦人薬	ブクリョウ/茯苓	苓:ぽとぼとおちるの意	ぽとぼと落ちる→利尿作用 きのこの一種。

婦人薬

87	婦人薬、強心薬、小児鎮静薬	サフラン	「黄色」を意味するアラビア語のzafranより。	サフランライスに使われる黄色色素。婦人病に使われる。
88	婦人薬、解熱鎮痛薬、風邪薬	コウブシ/香附子	塊茎の形が生薬の附子に似て、香りがあることから。	ハマスゲは全世界どこにでも生え、最も有害な雑草との汚名もある。女性のための生薬の代表格で神経症(ヒステリー)などに使われる。
89	婦人薬、解熱鎮痛薬、風邪薬、滋養強壮保健薬	センキュウ/川芎	川:四川の川。 芎:葉柄が弓状に曲がっていることから。	すべて補血薬で、女性用漢方によく使われる生薬。補血剤の基本方剤である「四物湯」は、センキュウ、ジオウ、トウキの3つにシャクヤクを足したもの。 ・千芎:川の流れのように血流促進。 ・地黃:赤い矢のように血流促進。 ・当帰:血色が良くなつて美しくなり、好きな人が帰ってくる。
90	婦人薬、滋養強壮保健薬	ジオウ/地黃	「黄色く肥大した根」の意。起源植物、赤矢地黃は、花の形が矢に似ていることから。	
91	婦人薬、痔用薬(内用)、滋養強壮保健薬	トウキ/当帰	好きな男の人が「当(まさ)」に「帰る」の意。婦人が飲むと健康になり美しくなることから。	

その他

92	毛髪用薬(外用)、解熱鎮痛薬	チクセツニンジン/竹節人参	竹節:根茎に竹のような節があることから、人参:根茎がニンジンのようにピックリしていることから。	
93	毛髪用薬(外用)	カシュウ/何首烏	「何」さんが飲んで「首」から上が「鳥」のようになったことから。	脂質代謝を改善する作用がある。
94	毛髪用薬、歯槽膿漏薬(外用)	ヒノキチオール		~オールの語尾は、殺菌・消毒作用を持つものが多い。例)エタノール
95	その他	サンザシ/山査子		さくらんぼのような赤い実。消化酵素を含み、健胃薬として使われる。山査子酒が有名。
96		セッコウ/石膏	※試験の範囲外だが漢方薬に多く含まれるため記載。	石→ひんやりしている→体を冷やすための清熱剤
97		レンギョウ/連翹	黄色い花をびっしりと付けて咲くところから。	びっしり連なる実→菌のイメージ→抗菌作用、鎮痛(抗炎症)作用